

表 2020年大統領選挙の民主党候補者およびサウスカロライナ州での好感度

	名前	サウスカロライナ州 好感度(%)	年齢 (歳)	政治経験 年数(年)	7月討論会 参加者	現職・元職	SNSなどで言及した主な項目
1	ジョー・バイデン	79	76	44	○	オバマ政権の副大統領	教育制度
2	バーニー・サンダース	67	77	38	○	現連邦上院議員(バーモント州)	ヘルスケア、企業政策
3	エリザベス・ウォレン	67	70	10	○	現連邦上院議員(マサチューセッツ州)	企業政策、経済格差
4	カマラ・ハリス	64	54	16	○	現連邦上院議員(カリフォルニア州)	マイノリティ差別、教育制度
5	コーリー・ブッカー	49	50	17	○	現連邦上院議員(ニュージャージー州)	司法制度、マイノリティ差別
6	ピート・ブッティジェッジ	36	37	17	○	現インディアナ州サウスベンド市長	経済格差、外交政策
7	ベト・オルーク	32	46	14	○	元連邦下院議員(テキサス州)	教育制度、移民政策
8	エイミー・クロブチャー	32	59	12	○	現連邦上院議員(ミネソタ州)	インフラ整備、選挙制度
9	ジュリアン・カストロ	31	44	18	○	オバマ政権の住宅都市開発長官	選挙制度、マイノリティ差別
10	キルステン・ジリブランド	27	52	11	○	現連邦上院議員(ニューヨーク州)	マイノリティ差別、気候変動、銃規制
11	ビル・デブラシオ	24	58	10	○	現ニューヨーク市長	賃金、メンタルヘルス、教育制度
12	トム・スタイヤー(注)	21	62	1年未満		慈善事業家、NextGen Climate創業者 (ニューヨーク出身)	企業活動の改善
13	タルシ・ガバード	20	38	17	○	現連邦下院議員(ハワイ州)	外交政策、企業政策
14	ティム・ライアン	17	46	19	○	現連邦下院議員(オハイオ州)	雇用創出
15	マイケル・ベネット	15	54	9	○	現連邦上院議員(コロラド州)	ヘルスケア、税制
16	アンドリュー・ヤン	13	44	1年未満	○	起業家(ニューヨーク出身)	経済格差、経済政策
17	ジョン・ディレイニー	12	56	6	○	元連邦下院議員(メリーランド州)	ヘルスケア、経済政策、内政問題
18	ジョン・ヒッケンルーパー	12	67	16	○	元コロラド州知事	気候変動、ヘルスケア
19	ジェイ・インスリー	11	68	24	○	現ワシントン州知事	気候変動
20	スティーブ・バロック	9	53	10	○	現モンタナ州知事	財政改革
21	マリアンヌ・ウィリアムソン	9	67	5	○	作家(カリフォルニア州下院議員立候補 経験有)	家庭問題、外交政策
22	セス・モルトン	6	40	5		現連邦下院議員(マサチューセッツ州)	経済格差、対イラン政策、移民政策
23	ジョー・セスタク	5	67	4		元ペンシルベニア州下院議員	気候変動、社会変革
24	マイク・グラベル	4	89	16		元連邦上院議員(アラスカ州)	反戦
25	ウェイン・メッサム	3	45	8		現ミラマー市長(フロリダ州)	学生ローン免除

(注)2019年7月9日に立候補表明。
(出所)各種報道を基にジェトロ作成